

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 102 (当初計画 : No. 95)

東北森林管理局

取組名	民国連携した森林共同施業団地内における低コスト林業推進に向けた取組 (拡充)
流域名	置賜流域
分類番号	ア-11、ウ-16
実施箇所及び実施日	置賜森林管理署 会議室 平成 26 年 2 月 12 日
取組の背景及び必要性	平成 24 年 3 月に、「小国町黒沢・種沢・大滝地区森林共同施業団地」を設定したところであるが、関係者が連携して共同化、集約化による低コスト化、効率化を図るために情報の共有、実施に当たっての課題の析出と検討を行う。
取組の内容	<p>民有林と国有林が連携し低コスト林業を推進するため、連絡調整会議を開催し、各種の検討・調整を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各協定者の平成 25 年度実行結果、26 年度以降の事業計画について情報共有を行った。 ・ 民有林と連携した林産物の安定供給システムについて説明を行った。 ・ 国有林の作業道を利用した場合の伐出経費の節減について、モデル化して説明を行った。 ・ 民有林における間伐への補助制度、要件等について情報交換を行った。 ・ 周辺地域で計画されているバイオマス発電への未利用間伐材の搬出について、検討、情報交換を行った。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 森林整備協定書及び森林整備実施計画書に基づく森林整備及び路網整備、森林施業団地連絡調整会議の開催等
連携協働相手先・役割	小国町、小国町森林組合、(財)山形県林業公社 森林整備協定書及び森林整備実施計画書に基づく森林整備及び路網整備等
取組の結果、反響、今後の課題等	各協定者が具体の森林整備箇所に基づいて、安定供給システム、路網の共同利用について検討。
PR の実施状況及びその期待する効果	

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 103 (当初計画 : No. 96)

東北森林管理局

取組名	民有林と連携した森林病虫獣害対策の実施 (継続)
流域名	置賜流域
分類番号	カ-29
実施箇所及び実施日	山形県小国町 平成 25 年 9 月 13 日
取組の背景及び必要性	置賜地域はナラ枯れの激害地で、平成 22 年をピークとして被害そのものは減少しているが、今後被害木の転倒、幹折れ、落枝による二次被害が危惧されている。危険性や対策、メカニズムを広く周知するため置賜森林病虫害対策協議会の事務局である置賜総合支庁及び山形県森林研究研修センターと共催し、行政、林業関係者、公益事業者、森林の利用者等を対象に研修会を開催した。
取組の内容	置賜森林管理署、置賜総合支庁森林整備課、山形県森林研究研修センターがナラ枯れ被害の推移、状況、二次被害の危険性、対策について報告した。 置賜森林管理署からは、腐朽したナラ枯れ被害木の伐倒をビデオで紹介し、処理を行う際の留意事項を注意喚起するとともに、小国町等と連携した住民への注意喚起の事例を報告した。 置賜総合支庁からは、民有林における被害対策と事業内容、補助事業について報告があった。 山形県森林研究研修センターからはナラ枯れ被害の原因と防除対策、危険対策について包括的かつ専門的な知見の報告があった。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 企画立案、講師
連携協働相手先・役割	山形県森林研究研修センター、県置賜総合支庁 講師
取組の結果、反響、今後の課題等	山岳団体等森林を利用する団体への危険性の周知は完了した。 山菜採取者等個人レベルで入山する者への危険性の周知が今後の課題である。
PRの実施状況及びその期待する効果	プレスリリース 新聞報道 1社

【参考資料】

取組名	民有林と連携した森林病虫害対策の実施（継続）
-----	------------------------

○被害のピークから危険への推移

枯死木の危険性

被害を受けた枯死木の枝折れや根倒れによる二次被害が危惧

枯死木様モデル	1	2	3	4
枯死後	1年～2年	2年～4年	4年～6年	5年～9年

○危険木の伐倒
道路(国、県、町道、林道、遊歩道)、電線等の施設に危険がおよぶ恐れのある枯死木の伐倒の推進

○置賜森林管理署の報告



○既に危険木が大量に存在

ナラ枯れ被害状況

○置賜総合支庁森林整備課の報告



○小国町、置賜総合支庁と連携し地域住民に危険性を周知

危険木の住民への周知

○ 回覧板やチラシによる注意喚起
○ 看板設置による注意喚起

ナラ枯れ被害対策にご協力下さい

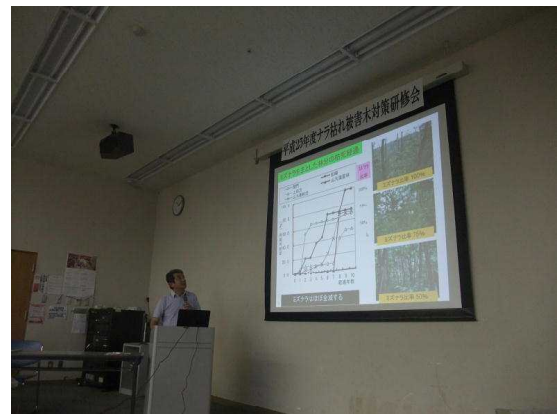
5年前より町内で被害が発生しているナラ枯れですが、年々その被害規模が増加し、本年は町内で約7万本の被害木が確認されました。町では、当該から置賜森林管理署と協力をし、置賜林へ被害木を伐採していただいております。被害を減らすには従ってありません。皆様には次のことについてご協力をお願いします。

①被害木に近づかないで下さい。
ナラ枯れの被害木は、最初に枝が折れ、次に幹が折れ、最後は幹が根から倒れる場合があります。山道や木のこの採取等で山に入る機会があると思いますが、折れた枝等が頭上から落ちてくる危険がありますのでご注意ください。特に風がある日は被害木には絶対に近づかないで下さい。

②ナラ林を利用して下さい。
ナラ枯れの被害木は、本来、薪、炭、きのこの原料として利用してきました。現在では、ほだ木やチップの原料として利用が可能となっております。被害の少ないナラ林は伐採し利用を行い、被害更新による林の維持をお願いします。伐採については、町内の木材業者またはアプス産業センターにご相談下さい。

町内アプス産業センターは次のとおりです。
小国町森林組合 電話 62-2229
置賜林業 電話 62-2290

○山形県森林研究研修センターの報告



平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 104 (当初計画 : No. 96)

東北森林管理局

取 組 名	民有林と連携した森林病虫獣害対策の実施 (継続)
流 域 名	置賜流域
分 類 番 号	カ-29
実施箇所及び実施日	置賜総合支庁外 平成 26 年 1 月 8 日外
取組の背景及び必要性	ナラ枯れ被害が東側の市町に拡大しているとともに、被害を受けた枯損木の倒木等による二次被害の懸念が増大していることから、枯損木対策を含めナラ枯れ被害対策が必要である。また、スギのクマ剥ぎ、ウエツキブナハムシによるブナの葉枯れ被害、マツノクロホシハバチによるハイマツ被害等も発生していることから、これらへの対策が必要である。
取組の内容	これまで、東北森林管理局と山形県と設置している「ナラ枯れ被害拡大防止対策検討会」等を踏まえ、署段階でも、民国連携して、「置賜支庁の置賜森林病虫獣害対策協議会への参画」、「小国町の森林病虫害防除連絡調整会議への参画」、「支庁・管内市町と連携した防除及び普及活動の実施」、「面的防除実証試験等へのフィールドの提供と協力」、「被害跡地の森林再生に向けた取組、モニタリングの実施」、「ボランティア等と協働した被害監視体制の整備・強化」、「各種森林病虫害獣害に係る調査」等に取り組んできている。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 企画立案や各種会議に参画、フィールドの提供、国有林における各種森林病虫害獣害の調査・対策の実施等
連携協働相手先・役割	山形県森林研究研修センター、県置賜総合支庁、管内市町、林業関係団体等 面的防除実証試験の企画立案・実施、各種会議の開催、民有林における各種森林病虫害獣害の調査・対策の実施等
取組の結果、反響、今後の課題等	民国連携したナラ枯れ被害対策の推進、ナラ枯れ枯損木等による二次被害の防止、地域住民等に対するナラ枯れ被害等に係る普及啓発等。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR は特になし

平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 105 (当初計画: No. 100)

東北森林管理局

取組名	保護林におけるボランティア団体等の植生回復作業等への支援・協力等(継続)
流域名	置賜流域
分類番号	カ-30
実施箇所及び実施日	植生回復事業: 米沢市 弥兵衛平湿原(磐梯朝日国立公園特別保護地区) 平成25年8月から9月
取組の背景及び必要性	吾妻山周辺、飯豊山周辺及び朝日山地の森林生態系保護地域をはじめ多くの保護林があるが、多くの登山者等が入山し、登山道が荒廃している箇所や踏み込み等による高山植物群落・湿原が荒廃している箇所があり、巡視・保全活動を推進する必要がある。
取組の内容	平成12年度から吾妻山周辺森林生態系保護地域馬場谷地湿原において、ボランティア団体参加によるモニタリング調査等を行っている。 また、吾妻山周辺、飯豊山周辺及び朝日山地の森林生態系保護地域において、ボランティア団体等により荒廃した高山植物群落や湿原の植生回復作業等が行われており、支援・協力を行っている。 更に、グリーン・サポート・スタッフも含めて巡視に努めるとともに、関係機関・団体との連絡調整会議を開催している。 引き続き、これらの巡視活動、モニタリング調査、連絡調整会議を行うとともに、ボランティア団体等による植生回復作業等に対して、連携協働により支援・協力を行う。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 巡視やモニタリング調査の実施、連絡調整会議の開催、ボランティア団体等の活動に支援・協力
連携協働相手先・役割	NPO 法人ネイチャーフロント米沢、飯豊連峰保全連絡会、朝日連峰保全連絡会、羽黒自然保護官事務所、置賜総合支庁、米沢市、小国町等 植生回復作業等の実施
取組の結果、反響、今後の課題等	植生回復事業の実施、保護林の保全、利用に当たっての関係機関による問題点の抽出、検討
PRの実施状況及びその期待する効果	検討会: プレスリリース、新聞社 2社取材 植生回復事業: ネイチャーフロンティア米沢がボランティア募集を行い、多数の参加者を得る

【参考資料】

取組名	保護林におけるボランティア団体等の植生回復作業等への支援・協力等（継続）
-----	--------------------------------------

* 弥兵衛平湿原植生回復事業（事業主体：ネイチャーフロント米沢）

1 弥兵衛平湿原遠望



4 泥炭層が流出



2 多数の池澮が形成された高層湿原



5 周辺の湿原から採取した種をまき付け



3 登山道脇の荒廃（嘗ては木道がなかった）



6 むしろと緑化ネットでマルチング



7 過年度の事業箇所 芽が出て定着



平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 106 (当初計画 : No. 101)

東北森林管理局

取組名	巨樹・巨木を保全するための地域取組（継続）
流域名	置賜流域
分類番号	カ-29
実施箇所及び実施日	米沢市李山字火焰 吾妻・大平温泉郷風景林内 平成 25 年 9 月 19 日
取組の背景及び必要性	ナラ枯れ被害が拡大する中で、「森の巨人たち100選」に認定されている「吾妻のミズナラ」及び周辺のミズナラ巨木を保全する必要がある。
取組の内容	平成18年度から、「吾妻のミズナラ」及び周辺のミズナラ巨木を対象に、殺菌剤の樹幹注入等により被害予防を行ってきた。 引き続き、米沢市等と連携して、民有林及び国有林のナラ枯れ被害を監視するとともに、「吾妻のミズナラ」及び周辺のミズナラ巨木への殺菌剤樹幹注入等により保全を図る。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 国有林内のナラ枯れ被害の監視、「吾妻のミズナラ」等への殺菌剤樹幹注入等
連携協働相手先・役割	米沢市、(株)天元台等 民有林内のナラ枯れ被害の監視、殺菌剤樹幹注入への参加等
取組の結果、反響、今後の課題等	「吾妻のミズナラ」は確実に防除が図られている。
PRの実施状況及びその期待する効果	病虫害防除や吾妻山周辺森林生態系保護地域等に係る各種会議での紹介